

生活環境

～ローカルからグローバルへ～

学校・地域に貢献しよう

地域の良さを発見しよう

自然との共生



選択生 19名

第3回 学校周辺の自然観察(水辺の生き物) 環境マップ制作



あめんぼうやえびなどの在来種が住んでいることから、学校周辺は、良い自然環境の状態であることがわかった。

和歌山県環境アドバイザー
松下 太先生に指導して頂きました。



生活排水の混じる小川で、生活排水がどれくらい生き物に影響しているかについても考える機会になった。

農薬の使用やコンクリートの整備が、めだか等、生き物が少なくなっていく原因でもある。人と自然との共生は難しいと思う。

ザリガニやスクミリンゴガイ、体長30cmほどもあるアカミミガメなど、外来種も多く見つけられました。生態系についても考える機会になった。



田や池の生き物
葦占河川
品川流域
あめんぼう
えび
カマキリ
トンボ
クワガタ
カブト

和歌山に生息する生き物たちの関係
生態系ピラミッド
生産者
消費者
分解者

めだかとかげ
めだか
かげ
環境要因

水の利用の仕方
私達は3つの用途で水を利用している
①産業用水
②生活用水
③飲用水

メダカの分布と変化
メダカ
カマキリ
トンボ
クワガタ
カブト
1999年調査
2019年調査

180年「水」の歴史
水生物が減少した原因
①農薬の使用
②コンクリートの整備
③生活排水の混入

川の絶滅の原因は人間
人間活動による水質汚染
①農薬の使用
②生活排水の混入
③コンクリートの整備

水辺をきれいにする
水辺をきれいにするには
①ゴミを捨てない
②生活排水を適切に処理する
③自然環境を保全する

自然を守るために
自然を守るためには
①自然環境を保全する
②生活排水を適切に処理する
③農薬の使用を減らす